

東女医大医教第18166号
平成 30 年 9 月 6 日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学
学長 吉岡 俊正
(公 印 省 略)

東医療センターリハビリテーション科教授候補者の公募について

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、附属医療施設である東医療センターのリハビリテーション科の教授を選考することになりました。

つきましては、貴学・貴施設ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたら、ご周知賜わりますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 公募の概要および選考方針

「社会に貢献する女性医人を育成する」という本学の建学の精神に則り、リハビリテーション全般に造詣が深く、この分野において教育、研究、診療を推進できる方を公募いたします。

なお、本学では、男女共同参画を推進しています。本学の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です。

つきましては、次の資格要件を満たす方を公募いたします。

- (1) 医師免許および博士(医学)の学位を有する方
- (2) 教育歴(5 年以上)、研究歴(10 年以上)、診療歴(10 年以上)の要件を満たす方
- (3) リハビリテーション全般に卓越している方
- (4) 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境の構築に積極的な方
- (5) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、チーム医療と医療安全を実践できる方
- (6) 医療安全に関して以下の A または B を満たす方（学外からの応募の場合、応募時点で基準を満たさないときには、就任後、1 年以内に満たせばよいこととします）
 - A：医療安全推進部門において、半日若しくは 1 日単位で計 24 日間以上実務者として勤務していること
 - B：セーフティマネージャー1 年以上の経験があること
- (7) 研究業績として、査読付自著論文(*)15 編以上(以下の A または B を計 4 編以上含むこと、ただし A1 編以上は含むこと)または自著論文のインパクトファクターの合計が 15 以上の要件を満たすこと
 - A：英文研究論文(自著原著)とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5 以上を一応の目安とする。
 - B：英文研究論文(自著原著)で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジ

エクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(*)自著論文とは、本人が first author または equal contributor になっている論文、または corresponding author として明記されている論文を指す。

(8) 日本リハビリテーション医学会認定指導医の資格を有し、広く社会に貢献できる方

2. 提出書類

応募に際しては、下記の書類をお送り下さい。

詳細は本紙 4～5 ページをご参照ください。

様式 1～6 については、本学ホームページ（HOME > 新着採用情報）からダウンロードしてください。

<http://www.twmu.ac.jp/univ/>

- | | | |
|-----------------------------------|-----|--------------------|
| (1) 履歴書(様式1) | 1部 | (補足資料も合わせてお送りください) |
| (2) 業績目録(様式2-1、2-2) | 1部 | |
| (3) 主要自著論文10編の別刷 | 各1部 | |
| (4) 主要自著論文10編の説明(様式3) | 1部 | |
| (5) 研究資金等の取得状況(様式4) | 1部 | |
| (6) 診療実績(様式5) | 1部 | |
| (7) 自己評価書 | 1部 | |
| (8) 推薦者一覧 | 1部 | |
| (9) 推薦書(様式6) | 各1部 | 推薦者3名まで(厳封のこと) |
| (10) 電子ファイル保存媒体
(USBまたはCD・DVD) | 1式 | |

上記(1)～(8)の電子ファイル((3)はPDFで、その他はExcelまたはWordファイル)を保存した媒体。

2. 提出期限

平成30年11月9日（金）【必着】

3. 提出先

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学 学長宛

4. 提出方法

- (1) 上記の提出書類等を一括して送付してください。
- (2) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。
- (3) 封書等の表に「東医療センターリハビリテーション科教授候補者応募書類」と朱書きしてください。
- (4) 提出は、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。

5. 選考方法

- (1) 一次選考：書類審査
- (2) 二次選考：面接審査

- (3) 三次選考：公開講演審査
- (4) 最終選考：理事会審査

6. 問い合わせ先

東京女子医科大学 学務部医学部学務課
電話03-3353-8112 (内線)26070・22114

7. 備考

- (1) 提出書類等一式は返却致しませんが、選考に関わる者以外に応募情報の漏洩なきよう厳重に管理のうえ、選考終了後当方にて責任を持って処分をいたします。ただし、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれますことをご了承願います。
- (2) 選考過程において、追加資料等の提出を求めることや、状況確認に所属施設に伺う場合があります。
- (3) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなります。このために必要な旅費・滞在費等は応募者の負担といたします。また、日程および実施方法はご本人に連絡いたします。
- (4) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人に通知し、推薦者の方には通知いたしませんことをご承知おきください。

以上

提出書類の記載方法等について

(1) 履歴書 (様式 1) (写真貼付)

別紙 (様式 1) に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会貢献活動、賞罰に分けて記載してください (相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください)。

また、履歴書に記載した卒前、卒後、大学院教育について、年間の講義内容・実習の時間数を記載した担当表やシラバスのコピーとその PDF を添付してください (過去 3 年分)。

(2) 業績目録 (様式 2)

別紙 (様式 2-1、様式 2-2) に従い、Excel ファイル内の 2 つのシートに記載してください。

(3) 主要自著論文、別刷 10 編

主要な自著論文 10 編をあげ、その 10 編の論文の別刷を各 1 部ずつ添付してください。

(4) 主要自著論文 10 編の説明書 (様式 3)

別紙 (様式 3) に従い、各々の論文の独創的な点について 200 字以内で説明を記載してください。

(5) 研究資金等の取得状況 (様式 4)

別紙 (様式 4) に従い、直近 10 年間に取得した研究資金を記載してください。

(6) 診療実績 (様式 5)

別紙 (様式 5-1、5-2) に従い、Excel ファイル内の 2 つのシートに、医療機関に保管登録された診療録に基づき外来診療その他等の状況について記載してください。

(7) 自己評価書

教育、研究、診療、将来への抱負等、下記①～⑦の各々について自己評価書を具体的に記載してください (A4 版。書式自由。各 1～2 枚程度)。

①教育：卒前・卒後教育 (大学院教育を含む) における講義、実習、少人数教育 (チュートリアルなど) の経験および教育に対する考えについて記載してください。

②研究：主な研究分野とその業績、若手研究者の育成経験、今後の研究の展望と抱負を記載してください。

③診療：実績、専門領域、特殊技能などについて記載し、病院経営におけるリハビリテーション科としての方策などについて具体的に記載してください。

④医療安全：セーフティマネージャー等の経験や医療安全講習会への参加状況を記載するとともに、安全な医療に関する考えを記載してください。

⑤組織マネジメント：主導的立場で経験した実例を記載してください。例えば、教室の運営、医局長や病棟長などの経験、所属学会の委員会の委員長、社会貢献活動における主導的立場など、種類を問いません。

⑥女性医療者の教育・育成：本学の建学の精神や大学の理念を踏まえ、女性医療

者の教育・育成に対するお考えを記載してください。これまでに実績があれば、その内容もご記載ください。

⑦将来への抱負：ご自由にお書きください。

(8) 推薦者一覧

推薦者の氏名・所属・役職を明記した一覧表（A4 版。自由書式）。

(9) 推薦書（3 名まで）

別紙（様式 6）に従い、最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究、診療に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を記載していただけてください。推薦人の依頼先は国内外を問いませんが、提出期限に注意して依頼してください。推薦書は推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒に送ってください。

以上